

令和6年度 かがやきの丘 障害理解研修会 ～心のバリアフリーミーティング～

12月10日（火）に、かがやきの丘3校への理解を深めていただくことを目的とした、「かがやきの丘 障害理解研修会」を実施しました。今年度は、県立近代美術館の学芸主事によるワークショップ「キンビアート～粘土と友達！粘土で友達！」や、3校の教育専門監等による学校紹介コーナー等を企画し、校外から18名の方にご参加いただきました。

また、関連行事として、12月9日（月）～13日（金）の期間に、秋田県立近代美術館の出前美術展「みる・きく・さわる みんなで楽しむキンビアート」と、かがやきの丘3校の幼児児童生徒作品展を開催し、かがやきの丘全体で美術に親しむ1週間となりました。

【ワークショップ「キンビアート～粘土と友達！粘土で友達！」】

各校5～6名の児童生徒と校外からの5名の参加者が、5グループに分かれて、粘土を使った造形活動と一緒に取り組みました。

グループごとに決めたテーマから発想して、一人一人が思い思いに作品を作り、最後にはそれらをついにまとめ、各グループの大きな作品が完成しました。粘土をこねたり伸ばしたりしながら会話も弾み、同じ場で共に活動することを楽しむ様子が見られました。



〈大きな粘土の塊から好きな量を自分で〉



〈自分の好きなもの、作りたいものを形に〉



〈テーマ「お店をつくろう」で作品完成〉

【学校紹介コーナー】

会議室では、かがやきの丘3校それぞれで使用されている、教材・教具や補助具の紹介と、障害理解につながる体験やビデオ上映などを行いました。

地域の方、放課後等デイサービス事業所の職員、保護者など、多くの方が来場され、熱心に質問したり体験したりしていました。



〈障害種に応じた教材・教具等の紹介〉

【県立近代美術館出前美術展「みる・きく・さわる みんなで楽しむキンビアート」】

正面玄関前の交流ホールに、立体作品を中心に8点の作品が展示されました。

各校の授業等の中で、県立近代美術館の学芸主事の方から作品の解説をしてもらいながら鑑賞する「おしゃべり鑑賞会」が行われ、話を聞いたり、感じたことを伝えたりしながら、作品に対する理解を深めました。

また、登下校時や休み時間などにも、たくさんの幼児児童生徒が訪れ、興味をもって作品を見たり、触ったりして楽しみました。



〈学芸主事の解説付での作品鑑賞〉



〈「摩止訶俱天狗」との対面〉



〈「不忍池図（レプリカ）」と鑑賞支援ツール〉

【幼児児童生徒作品展】

総合地域支援室では、3校の幼児児童生徒の保育での制作活動や、図画工作、美術、書写などの授業で制作した作品の展示と、3校の学校紹介ビデオの上映を行いました。

校外からの参加者に加えて、3校の幼児児童生徒や保護者、職員も各校の個性豊かな作品を味わいました。



〈視覚支援学校コーナー〉



〈聴覚支援学校コーナー〉



〈秋田きらり支援学校コーナー〉